

ワクチン接種意向調査&ワクチン接種体制に関するQ & A

令和3年2月3日 現在

意向調査について

No.	質 問	回 答
1	意向調査の目的は。	ワクチンの必要量をあらかじめ把握することで、円滑かつ迅速にワクチン接種を行うための予防接種計画を作成するために実施しています。
2	これらの場合、今後接種できないのか。 ・接種希望を「いいえ」と回答。 ・氏名を記入しなかった。 ・提出しなかった。	そのようなことはありません。 今後、接種券は全員に送付する予定です。接種券があれば接種は可能です。 今回の調査は、現時点での接種希望を把握し、予防接種計画を作成するためのものです。

ワクチン接種体制について

No.	質 問	回 答
3	なぜ接種するのか。	ワクチンは感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強めるために接種され、個人の発症や重症化を予防するだけでなく、社会全体で流行するのを防ぐことが期待されます。 多くの方が接種を受けることで重症者や死亡者を減らすことができれば、医療機関の負担を軽くすることも期待できます。
4	接種費用は。	無料です。（全額公費）
5	接種は、いつから行われるのか。	国では安全で有効なワクチンを承認し、供給できるよう進めており、「医療従事者等」への最初の接種を2月中旬から始められるよう準備を進めています。 4月1日以降、「65歳以上の高齢者」、「基礎疾患を有する者」、「高齢者施設等の従事者」を優先的に接種するよう進めています。 その後、「それ以外の者」に対して、ワクチン供給量等を踏まえ、順次接種できるよう進めています。 弥彦村では、村へのワクチン供給時期が決まり次第、上記の順番で速やかに接種できるよう、準備を進めています。
6	65歳とは、いつ時点なのか。	令和3年度中（令和4年3月31日まで）に65歳に達する人です。
7	接種は、強制なのか。	任意接種です。（強制ではありません。） 予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思で接種を受けるか、また、受けないのかを判断いただくこととなります。本人の同意なく接種が行われることはありません。
8	接種しないと、どうなるのか。	罰則などは、ありません。
9	接種回数は。	2回接種する必要があります。 また、1回目と2回目は、同じ製薬会社のワクチンを接種する必要があります。
10	2回目は、いつ接種するのか。	最初に供給されると見込まれている ファイザー社ワクチン 21日間隔 その後、供給を見込んでいる 武田/モデルナ社ワクチン 28日間隔 アストラゼネカ社ワクチン 28日間隔

ワクチン接種意向調査&ワクチン接種体制に関するQ & A

令和3年2月3日 現在

No.	質 問	回 答
11	決められた間隔で、接種ができないのですが。 1回目から接種をやり直さないといけないのか。	決められた間隔の前後何日間が有効であるか等については、現在、明らかになっていません。 情報が入り次第、お知らせします。
12	2回接種しないと、効果はないのか。	製薬メーカーの治験によると、1回では十分な効果が得られないとされています。
13	効果はいつまで持続するのか。	国内外で複数の新型コロナウイルスのワクチンの開発が進められていますが、治験や海外での接種が始まって間もないことから、効果が持続する期間は明らかになっていません。
14	接種は、誰が行うのか。	医師または看護師です。
15	どこで接種できるのか。	弥彦村では、現在「集団接種」を検討しており、弥彦体育館やサンビレッジ弥彦を検討しています。 具体的な日時、会場等が決まり次第、予約方法も含め、お知らせします。
16	接種の予約の方法は。	現在、検討を進めています。 具体的な内容は、決まり次第お知らせします。
17	何歳以上が接種対象となるのか。	政府は、当面16歳以上を対象とすることで調整しているようですが、現時点では決定ではありません。
18	15歳以下は、接種しなくても大丈夫なのか。	臨床試験は16歳に満たない人たちは除外されましたが、今、12歳から16歳までの子どもたちへの効果を見ようという研究が進んでいます。ですので、将来的には、情報が出てくるはずですが、国の諮問委員会としては、データがないので、16歳に満たない人は接種を受けないよう推奨しています。
19	基礎疾患を有する方って、どんな人ですか。	1. 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方 ①慢性の呼吸器の病気 ②慢性の心臓病（高血圧を含む） ③慢性の腎臓病 ④慢性の肝臓病（ただし脂肪肝や慢性肝炎を除く） ⑤インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病 ⑥血液の病気（ただし鉄欠乏症貧血を除く） ⑦免疫の機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む） ⑧ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている ⑨免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患 ⑩神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等） ⑪染色体異常 ⑫重症心身障害（柔道の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態） ⑬睡眠時無呼吸症候群 2. 基準（BMI30以上）を満たす肥満の方 （*BMI=体重（kg）÷身長（m）÷身長（m））
20	妊婦は、優先接種の対象にならないのか。	現在、優先接種の対象には、含まれていません。

ワクチン接種意向調査&ワクチン接種体制に関するQ & A

令和3年2月3日 現在

No.	質 問	回 答
21	妊婦は、接種をしても大丈夫か。 (胎児への影響は。)	<p>日本産科婦人科感染症学会、日本産科婦人科学会より現状での提言が出された抜粋では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現時点で妊婦に対する安全性、特に中・長期的な副反応、胎児および出生児への安全性は確率していない。 2. 流行拡大の現状を踏まえて、妊婦をワクチン接種対象から除外することはしない。器官形成期(妊娠12週まで)は、ワクチン接種を避ける。母児管理のできる産婦人科施設等で接種を受け、なるべく接種前と後にエコー検査などで胎児心拍を確認する。 <p>まずは、産婦人科の主治医と十分相談することをお勧めします。</p>
22	感染から回復した人も接種すべきなのか。必要ないのか。	<p>PCR検査、抗原検査で陽性になった人も、ワクチン接種から除外しません。</p> <p>一度感染した人がどのくらいの期間、再び感染しないのかは、明らかになっていません。</p>
23	副反応が心配です。大丈夫なのか。	<p>ワクチン接種後に、ワクチン接種と因果関係がないものも含めて、接種部位の痛みや、頭痛・倦怠感・筋肉痛等の有害な事象がみられたことが論文等に発表されています。</p> <p>また、海外で既に行われている予防接種においては、まれな頻度でアナフィラキシー(急性アレルギー反応)が発生したことが報告されています。</p> <p>接種会場に「接種後の状態観察」を行う部屋を用意する予定です。接種後は、そこで15分～30分程度、アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じないか状態観察を行う予定です。</p> <p>もし、アナフィラキシー等が起きたときには、接種会場や医療機関ですぐに治療を行うこととなります。</p>
24	副反応が起きたときの補償は。	<p>一般的に、ワクチン接種では、副反応による健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が、極めて稀ではあるものの避けることができないことから、救済制度が設けられています。</p> <p>救済制度では、予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。</p> <p>新型コロナワクチンの接種についても、健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済を受けることができます。</p>
25	平日昼間に接種を行うのが難しいのですが。	<p>休日の集団接種も含め、検討しています。</p> <p>また、医療機関でも接種できるよう、医師会と協議を行っています。</p> <p>具体的なことは、決まり次第お知らせします。</p>
26	車の運転ができず、接種会場まで行けません。	<p>集団接種会場までの巡回バス等を検討しています。</p> <p>具体的なことは、決まり次第お知らせします。</p>
27	障がい等があり、付添人(介助人)が必要です。 支援は、ありますか。	<p>必要に応じ、障がい者や介護保険等の外出支援サービスをご利用ください。(費用は本人負担)</p> <p>また、今後、医師の訪問により接種できるよう医師会と協議を進めていきます。</p>

ワクチン接種意向調査&ワクチン接種体制に関するQ & A

令和3年2月3日 現在

No.	質 問	回 答
28	かかりつけ医療機関で接種はできないのか。	弥彦村は集団接種をメインに計画をしていますが、医療機関でも接種できるよう医師会と協議をしています。 具体的なことは、決まり次第お知らせします。
29	毎日、薬を服用しています。接種は、できますか。	接種当日、医師の予診時に相談できますが、場合によっては、当日接種できない場合があります。 事前にかかりつけ医に相談をしておくことをお勧めします。
30	高齢者施設に入所しています。その施設で接種できますか。 (障がい者施設、病院も同様)	入所(入院)している施設で接種できるよう、協議を進めていきます。 具体的なことは、決まり次第お知らせします。
31	転出の予定があります。どこで接種すればよいのですか。	原則は、接種時の住民票所在地の市町村で接種を受けることとなります。 転出前の市町村から送付された接種券の扱いや手続きの有無などについては、現在詳細が明らかになっていません。情報が入り次第、お知らせします。
32	下記の理由で住民票所在地と異なる場所に、長期滞在しています。現在滞在している市町村で接種は可能ですか。 ・ 出産のために里帰りしている妊産婦 ・ 遠隔地へ下宿している学生 ・ 単身赴任者 等	やむを得ない事情による場合には、例外的に住民票所在地以外で接種することができます。 しかし、現在、手続きなどについての詳細は明らかになっていません。 情報が入り次第、お知らせします。
33	今年度は、接種をしません。しかし、来年度は接種したいと思っています。無料で接種できますか。	来年度の接種体制については、現時点でお知らせできる内容はありません。